

Title	三邊金藏博士を悼みて
Sub Title	In Memoriam : Kinzo Sambe 1880-1962
Author	鈴木, 保良(Suzuki, Yasura)
Publisher	
Publication year	1962
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.5, No.5 (1962. 12) ,p.1071- 1072
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19621231-04044893

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三邊金藏博士を悼みて

鈴木保良

本塾大学名誉教授、学事顧問、経済学博士三邊金藏先生は、昭和三十七年四月二十五日、八十二才の御高齢で逝去された。先生は、わが国会計学会の最長老の一人であり、その名著「会計学」は、わが国会計学の発展史上、最初の体系化された文献として高く評価され、わが国における会計学の生成発展のために先生は、偉大なる業績を遺されたのであった。

同時に、先生は慶応義塾における会計学講座の創設者であり、また確立者でもあった。理財科から経済学部、さらに商学部に関係せられた先生が、会計学者として、また教育者として、五十年以上にわたって慶応義塾に残された足跡はまさに偉大なるものであり、不朽のものである。

昭和三十二年、現在の商学部が経済学部より分離独立するや、すでに慶応義塾大学名誉教授であられた先生は、商学部の最長老教授として、しかも、学究心に燃ゆること青年学徒の意気をもって、幾つかの会計学関係講座の教授指導にあたられた。

平素すこぶる健康であられた先生は、まさに大樹の倒れるがごとく卒然と逝かれる最後まで、三田山上にあつて教壇に

立っておられた。このことは、先生の学問に対する若々しい情熱とともに、われわれが常に畏服してやまないところであったが、同時に学究の人として、また教育者として、先生がまことにしあわせの人であったともいえよう。

学究熱心と人間味豊かな先生の人格については、数多くの逸話が伝えられている。かつて、学年末に際して先生が卒業論文や試験答案の採点に熱中のあまり、学生達の面会申込の煩に堪えず、「論文・答案 山積につき 面会謝絶」の札をのれいしく、自宅玄関に掲げられたとのことであるがその掲示札のために、ほかの要件で先生の御宅を訪ねられた人も、用を足さずに帰られたといわれている。まことにもって先生の面目躍如とすべき語りごとである。さらに、先生は、八十才近くの高齢のときに自ら求めて、日本会計研究学会の大会において、アメリカ会計学界の長老リトルトンの学説を批判する研究発表をなされた(本誌にもその草案が掲載されている)。そこに、最後まで若い学徒を指導された先生の情熱を感得するのである。

先生への追憶の辞はずでに多数の先輩、同学の諸氏によって、もろもろの新聞や雑誌で語りつくされており、ここに改めて付け加えるべき何ものもないが、われわれ商学部に身をおく者にとっては、なお、故三邊先生への追慕哀惜の情はひとしお堪え難いものがある。よって、商学部の学術機関雑誌「三田商学研究」は、ここに、先生恩顧の学弟子たちによって、ささやかながら、先生の偉業績を追憶する意をこめて論稿を寄せ合い、特輯としたのである。

先生の慈父のごとき温顔は、黄泉にあつてなお永くわれわれの行く手を見守っていて下さることを固く信じ、ここに謹んで先生の御冥福を祈り、哀悼の辞を捧げる次第である。